

第三編 國防費問題

目次

第三編 國防費問題

第一章 概説

一〇三頁

第二章 公表條文案

一〇四

一、公表條文案ノ審議

一〇五

二、條約案

一〇五

第三章 附屬書案

一〇九

一、附屬書案ノ審議

一〇九

二、附屬書案ノ構成

一一〇

三、附屬書案ノ内容

一一〇

四、附屬書案主要點ニ關スル我方ノ措置

一一八

五、會議最終議定書案

一二〇

第四章 各國豫算文書ノ審査

一二〇

一、簡易手續ノ適用

一二〇

二、支那ノ摘錄案ト我方ノ措置

一二一

第五章 國防費ノ公表制度ト軍備直接制限監督方法トノ關係……………一二一

一、幹部會附屬監督委員會及人員委員會ノ研究委囑……………一二二

二、各國ノ態度……………一二二

三、人員委員會報告國防費關係事項ニ關スル佛伊委員研究報告ノ提出……………一二二

附屬第一 國防費表……………一二四

附屬第二 豫算決算及條約所定ノ他ノ文書ノ常設委員會送付ニ關スル

指示書……………一二八

附屬第三 國防費問題重要文書表(續)……………一三一

第三編 國防費問題

第一章 概 說

公表條文
案及同附
屬書案

一、前回報告書第二部第七編卷末ニ之ヲ記述セルカ如ク國防費専門分科會ハ昭和八年六月八日一般委員會ノ決議ニ基キ公表條文案同附屬書案ノ作成並ニ各國豫算文書審査ノ續行ヲ委囑セラレ先ツ七月十一日公表條文案ノ第一讀會ヲ終了シ九月中旬ヨリ同案及附屬書案ヲ審議スルコトシテ休會シタリ

依テ同分科會ハ九月十二日ヨリ委員ノ私的會合、小分科會並本分科會ヲ重ネ附屬書案ノ起草審議ヲ爲シ引續キ公表條文案及附屬書案ノ第二讀會ヲ行ヒ十二月十一日之ヲ終了シ案文ヲ整理印刷シテ一般委員會ニ送付シタリ

主要各國
委員ノ懸
念

右公表條文案及附屬書案討議ニ際シ佛委員ハ國防費制限ヲ目的トセル公表制度ニ轉用シ得ル公表案ヲ作ラントスルノ底意ヲ有シ常ニ理想的立場ヲ執リタルカ我方及英及伊委員ハ公表案カ制限ヲ目的トスル公表制度ノ用具トナルヲ希望セス現實ニ即シ且簡單ヲ尊フノ態度ニ出テタリ

我方及英伊ノ傾向ハ大體ニ於テ討議ヲ指導シタルカ採決ニ全會一致ヲ原則トセル爲兩傾向ノ互讓折衷ヲ必要トシタル所モ尠ナカラス從テ論理ノ一貫ヲ期シ難キ點アルノミナラス各國豫算及會計制度ノ多岐ナルト國防費問題ノ多端ナルカ爲ニ案文亦相當複雑ナルモノトナリタリ

各國豫算
文書審査
ノ續行

二、國防費専門分科會ハ右公表條文案及附屬書案作成ト共ニ豫算文書完全提出國タル南阿、濠洲ヲ初メ十五ヶ國ノ豫算及會計制度並ニ國防費關係文書ノ審査ヲ續行シツツアリシカ一月十七日同分科會再開後ハ「アフガニスタン」、支那、埃及、「アルゼンチン」ヲ初メ二十七ヶ國ノ關係文書不完全提出國及未提出國ニ付テ審査手續ヲ簡單ニシ各國毎ノ摘録ヲ作成シ夫々關係各國政府ニ送付シテ其ノ意見ヲ求メ三月十六日右仕事ヲ終了セリ追テ右摘録ハ各國政府ノ回答ヲ俟チテ修正

國防費公
表監督限
直接制
方法監督
問題

ヲ加ヘタル上報告トシテ一般委員會ニ送付セラルヘシ

三、一九三三年十一月十六日幹部會附屬一般規程委員會（以下監督委員會ト呼フ）ニ於テ佛委員ヨリ「國防費ノ監督カ軍備殊ニ人員器材ノ直接制限ノ監督上ニ如何ナル寄與ヲ爲シ得ルヤ」ノ研究ヲ本分科會ニ委囑スヘキヲ提言シ議長「ブルカン」カ本分科會ト接觸スルコトヲ約シ他方亦人員委員會議長ヨリ同委員會ノ報告中ノ情報供給事項ニ關シ本分科會ノ意見ヲ求ムル處アリタリ

依テ十二月十一日國防費委員會議長「ヴァスコネロス」本分科會ニ出席シ本分科會ニ其ノ審議方ヲ委囑シタルカ日、伊、英ハ留保的態度ヲ示シ一月十七日會議再會ト共ニ右ニ對スル措置ヲ議シ結局左ノ如ク決定セリ

(イ) 監督委員會議長ヨリ研究ヲ求メラレタル豫算監督ト直接制限ノ監督トノ關係ニ付テハ同委員會ノ研究不充分ニシテ問題明白ナラサルモノアルヲ以テ當分之二手ヲ觸レス同委員會研究ノ結果ヲ俟チテ本分科會トシテ之ヲ取上クルヤ否ヤヲ決定スルコト

(ロ) 人員委員會議長ヨリ研究ヲ求メラレタル問題ニ付テハ本分科會作成ノ條文案附屬書案ノ範圍内ニ於テ且之ヲ變更セサルコトヲ原則トシテ研究ノ上適當ナル時期ニ回答ヲ與フルコトトシ會議ノ成行ヲ見タル上其ノ詳細ナル討議ニ入ルコトトセリ

然ルニ(ロ)ニ付テハ佛伊委員ノ研究報告本分科會ニ提出セラレ三月十三日各委員ノ意見交換行ハレタルカ我方ハ内容ノ討議ニ入ルハ時機尙早ナリト信スル旨ヲ述ヘテ内容ノ論議ヲ避ケ右報告ハ將來ノ討議ノ資料トシテ採用セラレタリ

休
會

右ヲ以テ本分科會ハ今期ノ事業ヲ終ヘ四月十日幹部會開催後適當ナル時期ニ召集セララルコトニシテ休會ス

第二章 公表條文案

一、公表條文案ノ審議

公表條文
案ノ審議

九月二十二日ノ本分科會ニ於テ議長ニ送付シタル公表假條文案ノ第二讀會ハ附屬書タル各指示書案ノ審議ヲ終ヘタル後之ヲ行フコトニ決定シ同案ノ審議新委員「エリス」(印度)ヲ加ヘ十一月二十四日ヨリ行ハレ所要ノ補足修正ヲ加ヘ次ノ如ク決定シタリ

條約案
二、條約案(假譯)

第 A 條

締約國ハ總テノ國防費ヲ其ノ經費ノ主管者竝ニ其ノ依テ支拂ハルル財源ノ性質及源泉ノ如何ヲ問ハス公表ヲ確保スルコトヲ約ス

右公表ハ第B條乃至第N條及條約本編ノ附屬書中ノ規定ニ從ヒ且右條文及附屬書ニ規定セララル相互條件ノ下ニ行ハルヘシ

第 B 條

各締約國ハ左記文書ヲ送付スヘシ

一、イ、中央官憲ノ總豫算及各國防省別豫算案

ロ、國防省外各省別豫算案及特別豫算案ニシテ國防費ヲ包含セルモノ

二、イ、中央官憲ノ總豫算及其ノ豫算決定ニ關スル法律並各國防省別豫算

ロ、國防省外各省殖民地保護領海外屬地締約國ノ管轄地域若クハ其ノ委任統治地域ノ各別豫算及特別豫算ニシテ國防費ヲ包含セルモノ

三、イ、中央官憲ノ總決算各國防省別決算

ロ、國防省外各省殖民地、保護領、海外屬地締約國ノ管轄地域若クハ其ノ委任統治地域ノ各別決算及特別決算ニシテ國防費ヲ包含セルモノ

第 C 條

締約國ハ第B條第一及第二號ニ列舉セラレタル文書ヲ其ノ公表ノ日ヨリ三十日以内ニ若ハ然ラサル場合ニハ本國中央行政廳ノ右文書ヲ接受後發送スヘシ但シ遅クモ右文書ノ確定セラレタル日ヨリ三ヶ月以内ニ之ヲ發送スルモノトス
同條ノ三ニ規定セララルル決算ハ其ノ公表後三十日以内若ハ然ラサル場合ニハ本國中央行政廳ノ其ノ決算接受後發送セラ
ルヘシ但シ如何ナル場合ニ於テモ右決算ハ本條約第D條ニ其ノ通報ヲ規定セララルル公表様式ニ添附セシメ得ル如ク速ニ
公表セララルヘキモノトス

第 D 條

締約國ハ條約ノ實施後最初ノ二會計年度ニ對シ附屬書中ニ指示書ニ基キ作成セラレタル國防費豫算ノ公表様式ヲ送付ス
ヘシ右公表様式ニハ對照表ヲ添ヘ附屬書第三一、ロニ示サレタル條件ニ基キ且會計年度開始後三ヶ月内ニ發送スルモノ
トス

第三會計年度及爾後ニ就テハ締約國ハ常設委員會ノ指定スル簡單ナル形式ニ於テ國防費豫算ノ公表様式ヲ供給スルコト
ヲ約ス右公表様式ノ型式作成ニ當リ常設委員會ハ前二年度ノ經驗ニ照シ公表様式ノ分章ノ數ヲ各軍ニ付一ツノ總括數字
ニ減少スルコトヲ努ムヘシ

第 E 條

締約國ハ會計年度毎ニ國防費ノ最初ノ許容總定額ト其ノ許容確定ノ時ヨリ會計年度ノ初ヨリ夫々九ヶ月末及十五ヶ月末
迄ニ齎ラサレタル變更トノ關係ヲ示ス二同ノ概況表ヲ發送スヘシ

右二概況表ハ附屬書第四中ノ指示書ニ從ヒ且前項規定ノ九ヶ月及十五ヶ月ノ夫々ノ期間經過後十五日内ニ發送セララルヘ
キモノトス

第 F 條

締約國ハ會計年度經過後十四ヶ月以内ニ附屬書第三中指示書ニ從ヒ作成セラレタル支拂實額公表様式ヲ發送スヘシ
右公表様式ハ決算ニ基クヘク其ノ通報及發送期間ハ第B條第三號及第C條第二項ニ夫々規定セララル
加之締約國ハ證明書類トシテ右公表様式ニ左記文書ヲ添附スヘシ
聯邦ヲ成ス國ノ決算内ニ在ル國防費ノ公證狀況書
公共地域或ハ地方團體ニ依リ使用セラレタル國防費ノ公證狀況書

第 G 條

監督ニ關スル條約ノ一般規定ニ抵觸セサル限リ締約國ハ常設委員會ノ理由ヲ附シタル特別要求ニ基キ第B條中ニ規定セ
ラルル正規的且定期的通報以外ニ文治省ノ各豫算及決算特別豫算及決算聯邦國地域の又ハ地方的團體ノ豫算及決算ヲ通
報スルコトヲ約ス

第 H 條

締約國ハ本條約ノ實施中本會議ニ提出セラレタルカ如キ豫算及決算ノ區分ヲ常設委員會ヲシテ公表様式内ノ數字ノ正確
サヲ審査シ且各國ノ軍備ニ對スル財政的努力ヲ注視スルヲ一層困難トスル程度ニ減少セサルコトヲ約ス
本會議ニ豫算文書提出ノ際公表セラレ居リタルモノヨリ詳細ナル非公表豫算文書ヲ提出セル締約國ハ將來ノ公表豫算及
決算ニ本會議ニ提出セル非公表文書ニ尠クトモ同程度ノ區分ヲ施スコトヲ約ス

本會議ニ依リ文書ノ審査セラレサリシ締約國ニ付テハ常設委員會ハ條約實施ニ依テ提出セララル第一次公表様式ニ照應
スル公表豫算文書ノ區分ノ程度ノ充分ナルヤ否ヤヲ判定スヘク且其ノ然ラサル場合ニ於テハ右區分ニ施スヘキ必要ナル
變更ヲ指示スヘシ

第 I 條

常設委員會ハ本條約ノ第D條及F條所定ノ公表様式ヲ其ノ公表ニ先チ審査スヘシ

右公表様式審査中委員會ハ關係國政府ニ其ノ必要ト認ムル補足及説明ヲ求ムルコトヲ得ヘシ
右審査ニ次キ委員會ニ於テ提出セラレタル數字ヲ變更スル必要アリト認ムルトキハ委員會ハ關係國政府ニ對シ右數字ニ
施サント欲スル變更ヲ其ノ理由ヲ指示シテ通知スヘシ

委員會ニ依リ公表セラルル公表様式ハ政府ニ依リ提出セラレ又ハ訂正セラレタル數字ヲ指示スヘシ公表數字ニ關シ委員
會ト關係政府間ニ合意成立セサル場合ニハ委員會ハ公表様式ニ政府提出數字ニ對シ施スノ必要アリト認ムル變更ヲ詳細
ニ指示スル覺書ヲ添附スヘシ

第 J 條

常設委員會ハ前諸條所定ノ文書ノ提出ニ付各國ニ依リテ實現セラレタル進歩ヲ注視スヘシ

委員會ハ右文書全體ヲ繼續シテ審査スルコトニ依リ一方各國ノ國防ノ爲ニスル財政的努力ノ進展ヲ注目シ他方右蒐集情
報ヲ資料トシテ各國ノ軍力ノ變化ヲ觀察スヘシ

第 K 條

本條約ノ規定ハ條約實施後第一次會計年度ニ適用アルモ第 L 條乃至第 N 條所定ノ方法ニ依リ適用セラルルモノトス

經 過 規 定

第 L 條

締約國ハ常設委員會ニ第 B 條第一及第二號ニ列記セル文書ニシテ條約實施ノ際既ニ開始セル會計年度ニ關スルモノヲ發
送スヘシ

右文書ハ遅クとも條約實施開始後二ヶ月内ニ發送セラルヘシ條約ノ實施セラレタル會計年度ノ開始ヨリ夫々九ヶ月及十
五ヶ月ノ期間内ニ於テハ締約國ハ該年度ノ國防費ノ最初ノ許容總定額ヲ變更セル法令表及法令自體ヲ送付スヘシ

第 M 條

第 F 條ノ規定實施ニ依リ各國ニ依リ提出セラルル第一次公表様式ハ右公表様式ノ作成セラレタル財政年度ニ關スル決算
ノミナラス前三ヶ年度ノ決算ヲモ添付スヘシ

右公表様式提出ノ際締約國カ前三ヶ年度ノ決算ヲ送付シ得サル狀態ナルニ於テハ右三ヶ年度ノ各々ニ付國防費支拂公證
狀況書ヲ常設委員會ニ提出スヘク右三ヶ年度ノ決算ハ能フ限り速ニ發送セラルルモノトス

第 N 條

第 H 條第二項所定ノ締約國ハ最初ノ二會計年度ニ關スル豫算案豫算及決算ヲ條約實施開始前右文書ヲ公表セル型式ノ下
ニ發送シ得ルモノトス但シ右締約國ハ公表様式ノ資料トシテ豫算及支拂ノ公證狀態書ヲ常設委員會ノ審理ノ點ヨリ會議
ニ提出セラレタル支拂狀態書ト同様ノ實際的價值アル形式ニテ添付セシムヘシ

以上條文案中第 D 條豫算公表様式ノ送付ニ付テハ我方及英委員ハ條約實施後二年間ニ止ムヘキモノナルコトヲ主張シ佛委
員等ハ永續的ニ提出スヘシト爲シ論議互讓ノ結果第三會計年度以後ニ付テハ第 D 條第二項ニアルカ如ク決定シタルモノニ
シテ互讓ノ結果ニ外ナラス又第 I 條及第 J 條ハ國防費ニ關スル常設委員會監督ノ權限ヲ明ニシタルモノニシテ我方ハ能フ
限り其ノ範圍ヲ縮限セント努メ本規定ノ如ク決定シタルモノナリ

第三章 附 屬 書 案

一、附屬書案ノ審議

附屬書案
ノ審議

附屬書案ハ九月十二日ヨリ各分擔委員ニ於テ私的會合並ニ小分科會ニ於テ原案ヲ作成シタルカ獨逸委員「ウオーブス」
ハ獨逸ノ軍縮會議脫退ニ依リ參加セサルニ至リシヲ以テ「ジャコメ」委員及「バルベリス」委員其ノ「ウオーブス」擔
當案作成ニ當リタリ

右原案ハ九月二十二日ヨリ十一月七日迄本分科會ニ於テ審議ヲ爲シ公表條文案ノ第二讀會ニ引續キ十一月二十七日ヨリ

第二讀會ヲ行ヒ十二月十一日之ヲ完了シタリ

二、附屬書案ノ構成

附屬書案
ノ構成

附屬書案ハ左記ヨリ成ル

(イ) 附屬書一 條約上ノ國防費表

(ロ) 附屬書二 豫算決算及條約所定ノ他ノ文書ノ常設委員會送付ニ關スル指示書

(ハ) 附屬書三 公表様式及對照表作成ニ關スル指示書

一 豫算及支拂實額ノ公表様式第一表乃至第四表中ニ記入スヘキ經費決定ニ關スル指示書

二 公表様式第一表乃至第四表經費ノ分類ニ關スル指示書

三 公表様式第五表ノ目的タル特別通報ニ關スル指示書

四 對照表作成ニ關スル指示書

(ニ) 附屬書四 條約第F條所定概狀書作成ニ關スル指示書

(ホ) 附屬書五 國防費公表様式對照表型式及公表様式第五特別通報ニ對スル説明並國防費定額ノ變更ニ付テノ概狀書型式

外ニ會議最終議定書

三、附屬書案ノ内容 (Conf. D/C.G./60 [Conf. D/C.D./C.T. 239] 參照)

附屬書案
ノ内容

附屬書案ハ六月八日一般委員會ノ決定ニ從ヒ國防費專門分科會報告 (Conf. D/158) 記載ノ條件ニテ國際監督附國防費公表原則ノ適用ヲ條文化シタルモノニシテ本分科會報告記載ノ詳細ナル條件ニ付テハ既ニ前同會議報告書中ニ詳説シ置キタルヲ以テ茲ニハ再述セス左ニ各指示書ノ概説及我方ノ措置ヲ記述スルニ止メン

附屬書一

(一) 附屬書一、條約上ノ國防費表 (本報告附屬第一參照)

條約上ノ國防費表ハ我方ノ擔當トシテ專門分科會報告ノ該表ニ人員及陸、海、空軍各委員會ノ祕書ノ意見ヲモ參酌シ適當ナル訂正ヲ加ヘタルモノヲ更ニ本分科會ニ於テ經費分類ニ關スル指示書トノ關係ヲ研究シテ修正ヲ加ヘタル後採決セラレタリ

右國防費表ハ國防費ノ定義 (附屬書三ノ1a部2參照) ヲ補ヒ條約上國防費ト看做サルモノヲ列舉シタルモノナルカ後述ノ如ク我方ノ主張ニ基キ右表中ニ該當スル經費ト雖モ軍力ヲ増加セサル事件費等ニ付テハ之ヲ公表様式ニ記載スル國防費ヨリ除外スルヲ原則トス (附屬書三ノ1a部3參照)

附屬書二

(二) 附屬書二、豫算決算及條約所定ノ他ノ文書ノ常設委員會送付ニ關スル指示書 (本報告附屬第二參照)

本指示書ニ於テ左記諸項目ニ付規定セリ

1. 供給文書ノ部數及翻譯

2. 一般豫算決算及各省別豫算決算ヲ別々ニ公表スル場合

3. 送付スヘキ豫算案豫算決算ノアル公刊物ノ選擇

4. 高級檢査機關ノ公表後ニ行ハル場合

5. 公表ノ意義

6. 文書送付ノ時期

7. 聯邦ヲ成ス國及地域及地方官權ノ豫算決算

8. 殖民地保護領等ノ豫算及決算

9. 或種主權下ニ在ル領土又ハ保護領ニ關シテ供給スヘキ文書

10. 公證セラレタル概狀書ニ關スル公證ノ方式

11. 豫算案ニ基ク公表様式送付ノ遅延

12. 經過規定

附屬書三

(二) 附屬書三、公表様式及對照表作成ニ關スル指示書

本指示書ハ前述ノ如ク甲、豫算及支拂實額ノ公表様式第一表乃至第四表中ニ記入スヘキ經費決定ニ關スル指示書乙、公表様式第一表乃至第四表經費ノ分類ニ關スル指示書丙、公表様式第五表ノ目的タル特別情報ニ關スル指示書丁、對照表作成ニ對スル四ケノ指示書ヨリ成ルモ右ノ内一ハA部公表様式作成ニ適用スヘキ一般指示書B部條約第D條所定豫算公表様式ニ記入スヘキ經費決定ニ關スル特別指示書C部條約第F條所定支拂實額公表様式作成ニ關スル特別指示書ニ細分セラル

甲、豫算及支拂實額ノ公表様式第一表乃至第四表中ニ記入スヘキ經費決定ニ關スル指示書(條約第D條及第F條)ハ

左記諸項目ニ付テ規定セリ

1. 指示書ノ目的

A 部

2. 公表様式ニ記入スヘキ經費ノ決定(國防費ノ定義)(註一)
3. 非常且豫測スヘカラサル經費ノ除外ト其ノ手續(註二)
4. 軍縮ノ爲直接生スル經費ノ除外部分ト其ノ手續(註三)
5. 以前ノ戰爭ノ爲必要トスル經費ノ除外ト其ノ手續(註四)
6. 國家ノ國防力ヲ増加シ得ル一般の利益ノ經費、戰爭潛力除外原則
7. 國家文治及軍事活動ノ雙方ニ關係アル經費ノ取扱
 - a. 文治行政機關ニ派遣セラルル軍人俸給ノ經費
 - b. 民間航空ニ共通ノ經費

- c. 海軍及商船ニ共通ナル經費海洋漁業監視事務ニ要スル經費
- d. 地理海上測圖製圖測地測圖氣象事務ノ經費
- e. 營造物建設修理維持家具備付事務所印刷衛生事務ノ爲ノ經費
- f. 鐵道郵便電信電話信號無線電信等ノ如キ公共事業ニ依ル國防ノ爲ノ無償又ハ割引ノ勞務
- g. 司法及刑務所經費
- h. 軍事費監督機關ノ經費
- i. 各國ニ依ル同一方法適用繼續ノ約束
8. 寄附遺贈ヨリ來ル財源ニ基ク經費
9. 協會ノ支出スル國防費
10. 他國政府ニ向ケラルル物ニ對スル國防機關ノ經費
11. 文政廳協會又ハ個人ニ宛テラルル物ニ對スル國防機關ノ經費
12. 獨立會計施設ノ經費
13. 國防機關ノ收入ニ依リ支出セラルル經費
14. 俸給及手當ノ天引
15. 公債資金ニ依リ支出セラルル經費
16. 豫算外財源ニ依リ支出セラルル經費
17. 二重使用
18. 國定貨幣ニ依ル經費額ノ提示
19. 殖民地經費ノ公表様式

註一、公表ニ記載スヘキ經費ノ決定

條約ノ第D條乃至第D條ニ規定セラレタル公表中ニ記載セラルル經費ハ一般ニ平時ニ於ケル軍隊ノ創設維持及訓練ノ爲及動員ノ第一準備ノ爲必要トシ又ハ必要トナリタル經費ヲ云フ

右經費ハ附屬書第一國防費ノ條約上ノ表中ニ列舉セラレ條約ノ第A條ノ規定ニ從ヒ締約國ハ公表中ニ右表ニ列舉セラレタルモノニ照應スル經費ヲ其ノ主管者ノ何人ナリヤ其ノ經費ノ財源ノ性質及源泉ノ如何ヲ問ハス總テ記載スヘシ

註二、非常且豫測スヘカラサル經費

兵力ノ使用ニ依リ及總テノ種類ノ器材ノ消失若ハ破壊ニ依リ必要トナレル非常且豫測スヘカラサル性質ノ或種經費ハ之カ其ノ國ノ軍力ヲ増加セサル限リ國防費額ヨリ控除セラルヘシ

前項ノ規定ニ從ヒ自然的災害例ヘハ地震颶風海潮大爆發機體ニ依リ又ハ國內ノ不秩序内亂邊隔ノ領域内ノ反亂ノ鎮壓ニ依リ若ハ危險ニ瀕セル自國臣民ノ生命及財産ノ保護ニ依リ必要トナレル經費ノミ控除セラルヘシ

其ノ場合右控除ハ破壊セラレタル器材若ハ建物カ再造セラレタルトキハ破壊セラレタル器材若ハ建物ノ價格損傷セル建物又ハ器材ノ修理ノ費用竝ニ軍力ノ非常使用ニ依リ必要トスル運搬費加修或ハ總テノ種類ノ補給若ハ他ノ補助費用ニ付行ハレ得ヘシ

前記規定ニ從ヒ一國カ非常且豫測スヘカラサル經費ノ控除ヲ爲サントスルトキハ公表ノ第一表乃至第四表ノ各々ノ下方ニ註ヲ附シ其ノ控除額ヲ明ニスヘク右註ハ左ノ如ク記述スヘシ

「上記金額ハ非常且豫測スヘカラサル、、、、ニ上ル經費ヲ包含セス」(右經費ノ控除ノ詳細ニ付テハ對照表中ヲ見ルコト)

一國カ非常且豫測スヘカラサル經費ノ公表ニ附セラレタル國防費數字ノ解釋ニ影響スル程重要ナラサルモノト認ムルトキハ公表第一表乃至第四表中ニ右經費額ヲ記入シ得ヘシ

註三、軍備縮少ノ爲直接必要ナル經費

軍備縮少ニ依リ必要トセル經費ハ公表中ニ記入スヘシ但シ軍備縮少ノ爲建設製造又ハ供給ノ契約ノ取消又ハ何等カノ契約ノ破棄ノ賠償トシテ第三者ニ支拂フ金額ハ公表ニ記入スヘキ經費ヨリ控除セラルヘシ

右ノ如キ控除ノ行ハルトキハ公表ノ第一表乃至第四表ノ各々ノ下方ニ註ヲ附シ之ヲ明ニスヘク右註ハ左ノ如ク記述スヘシ

「上記金額ハ、、、ニ上ル軍備縮少ニ依リ契約ヲ破棄セル賠償ノ爲ノ經費ヲ包含セス」(控除ノ詳細ニ付テハ對照表參照ノコト)

一國カ右經費カ公表ノ目的タル國防費數字ノ解釋ニ影響スル程重要ナラサルモノト認ムルトキハ公表第一表乃至第四表中ニ右經費額ヲ記入シ得ヘシ

註四、以前ノ戰爭ニ依リ必要トセル經費

以前ノ戰爭中支拂約束セル經費ノ整理精算ノ爲ノ經費(以前ノ戰爭ノ精算費)ハ公表中ノ經費ヨリ控除セラルヘシ

一國カ右ノ如キ控除ヲ爲ストキハ公表ノ第一表乃至第四表ノ各々ノ下表ニ註ヲ附シテ其ノ金額ヲ明ニスヘク右註ハ左ノ如ク記述スヘシ

「上記ノ金額ハ、、、ニ上ル以前ノ戰爭ノ爲ノ期限附負擔ヲ包含セス」(右控除ノ詳細ニ付テハ對照表參照ノコト)

一國カ以前ノ戰爭ノ精算費カ公表ノ目的タル國防費數字ノ解釋ニ影響スル程重大ナラサルモノト認ムルトキハ公表ノ第一表乃至第四表中ニ右經費額ヲ記入シ得ヘシ

B 部

條約第D條所定豫算公表様式中ニ記入セラルヘキ經費決定ニ關スル特別指示書

20. 豫算公表様式中ニ記入スヘキ經費ノ決定
21. 豫算ヲ基礎トスル公表様式ノ作成
22. 公表豫算案ヲ基礎トシテ作成セル公表様式
23. 總括及繼續豫算
24. 國家豫算案中ニ在ル額ヲ記載セラレタル公表様式ノ訂正
25. 豫算外經費定額ヲ公表様式中ニ記入
26. 數年間有效ナル豫算外經費定額
27. 國防機關ニ依ル收入ヲ以テスル經費ノ豫算
28. 爲替損失金

C 部

條約第F條所定支拂實額公表様式作成ニ關スル特別指示書

29. 公表様式ニ記入スヘキ支拂ノ決定

a. 國家及公團體

b. 協會

c. 個人、各種給付

30. 支拂ノ條約上ノ定義
31. 現物提供
32. 經費定額許容期日及債權ノ發生期日ニ關セス財政年度中ニ爲サレタル支拂ノ記入
33. 豫算案ニ依リ設ケラルル特別資金
34. 爲替損失金

乙、公表様式第一表乃至第四表經費分類ニ關スル指示書

本指示書ハ左記諸項目ニ付規定セリ

A 一般的规定

1. 目的
2. 公表様式ニ經費ヲ記入スルニハ其ノ實際ノ用途ニ相應セサルヘカラス
3. 三軍經費ノ區分
4. 國防軍ノ一ノ行政下ニ在ル共通事務
5. 文治省ヨリ國防省ニ與ヘラレタル用役
6. 要塞海岸防禦及空襲防禦ニ對スル經費
7. 任務欄
8. 除外例

B 詳細規定

詳細規定ハ國防費表ト對照セシメ第一款 (Title) 人員第二款行動第三款不動産第四款戰用機材ニ大別シ各款ヲ章ニ分チテ詳細經費區分方法ヲ指示シタリ

丙、公表様式第五表ノ目的タル特別通報ニ關スル指示書

1. 普通恩給
2. 數年ニ互ル總括經費 (Credit) ノ初額ト公表様式ノ年ノ豫算ヲ含ミ既ニ豫算内ニ記入セラレタル右經費ノ部分トノ差異
3. 繰越シ得ル經費即チ實行年度中ニ又ハ後年後ニ支拂ヲ爲シ得ル經費ト公表様式ノ年度ノ決算ニ記入セラルル經費ノ支拂トノ差異
4. 公表様式年度ノ豫算中ニ決定セラレタル支拂經費外ニ於テ議會又ハ豫算ヲ決定スル官權ニ依リ承認セララルル支出契約ノ許容額
5. 特別會計ノ目的タル經費ノ許容額ト公表様式ノ作成セラレタル年ノ支拂實額ヲ含ム右會計上ノ支拂實額トノ差異
6. 特別會計ノ營造物カ財政年度末ニ於テ其ノ手ニスル殘高
7. 支拂ノ延期セラレタル引渡シ物品又ハ役務ノ精算セラレ且支拂ハレサル額
8. 平時戰用機材ノ引渡ヲ爲ス私企業ニ對スル補助金又ハ參加ニシテ公表様式中ニ包含セラレサル費用
9. 國防ノ爲ノ無償給付又ハ役務ニ關スル種々ノ説明ノ各々ニ付詳細ニ規定ス

丁、對照表作成ニ關スル指示書

イ、概表Aハ陸海空ノ三軍ノ各々ニ付國防費總額ヲ示ス

ロ、解析表Bハ國防費ニ關スル豫算又ハ決算ノ各目ヲ詳細ニ擧ケ其ノ各額ヲ公表様式ノ種々ノ分類ニ配分セル狀態竝ニ控除額ヲ示ス

ハ、綜合表Cハ三軍ノ爲三表ニ分タレ解析表Bヲ綜合シテ公表様式第一第二第三表ノ種々ノ章ノ數字カ如何ニシテB表ニ示サレタル經費ノ各目ノ挿入ニ依リ構成セラレアルヤヲ示スノミナラス公表様式各章ニ記入セラレタル總額ノ正確ナルヲ速ニ審査スルヲ得セシムルモノナリ

ニ、右ノ外對照表附屬トシテ公表様式第五表第一號乃至第九號特別通報ニ關スル説明表アリ

附屬書四

(四) 附屬書四、條約第E條所定概狀書作成ニ關スル指示書

本指示書ハ最初ノ豫算定額總額ノ財政年度中ノ變更ヲ明ニスルヲ目的トスルモノニシテ我方及波委員ノ擔當案ヲ修正シ採用シタルモノナリ

附屬書五

(五) 附屬書五、國防費公表様式對照表型式及公表様式第五特別情報ニ對スル説明表國防費定額ノ變更ニ付テノ概狀書型式

四、附屬書案主要點ニ關スル我方ノ措置

附屬書案ニ關スル我方ノ措置

附屬書案中根幹ヲ爲スハ附屬書三ナルカ其ノ内我方ノ重要視シタル諸點ニ付テノ措置左ノ如シ

(イ) 所謂非常事件費ハ上述ノ如ク附屬書三ノ一A部ニ規定セラレタルカ本問題ニ付テハ佛委員ト我方ニテ第一讀會案ノ作成ニ當リ佛委員ハ之ヲ公表様式中ニ包含シタル後國防費總額ヨリ除外スル形式ニスヘシト主張シ居タルモ我方之ニ反對シ折衝互讓ノ結果第一讀會案トシテ公表様式ニハ記載セス除外額ニ付テハ説明表附シ其ノ數字ヲ對照表ノ附屬別表トシテ公表様式中ノ各款(Tires)ニ分チテ示シ其ノ各章(Chapters)ニ互ラサルコトニ落着キ(專門分科會議事録Conf. D.C.D.C.T./P.V. 75 參照)右非常事件費ヲ條約上ノ國防費ト看做ササル我方ノ主張ハ大體貫徹シタリ然ルニ第二讀會直前ニ至リ英國委員ヨリ我方委員ニ對シ政府ノ訓令ニ依ル趣ヲ以テ第一讀會案ハ受諾シ得ス非常事件費ヲ公表様式ニ記入スルト除外スルトハ各國ノ自由トシ除外スル場合ニハ公表様式第四表ニ「ノート」トシテ右費用ヲ其ノ他ノ除外費用ト共ニ列記スルコトヲ提議シ來レリ依テ我方トシテハ熟考ノ結果飽迄之ニ反對スルニ於テハ論議ヲ逆戻リセシメ原則上ノ問題ヲモ我方單獨主張ニ還元セシムル處アリタルヲ以テ英佛伊各委員ト折衝ヲ行ヒ折衷案トシテ第一讀會ノ決定ヲ其ノ儘トスルモ第一表乃至第四表ニ附記トシテ夫々ノ非常事件費總額ヲ記載スルコト及國家カ非常事件費ニシテ公表ニ附セラルル國防費數字ノ解釋ニ影響ヲ及ホスニ足ラサルモノト認ムルモノハ之ヲ除外セサルコトヲ得ル(即チ公表様式中ニ入ル)旨ヲ指示書中ニ明カトスルコトニシ右ニ付帝國政府ノ同意ヲ得タリ

(ロ) 三軍別經費區分ニ付我國ハ之ヲ困難トスル立場ニ在リ屢々其ノ不可能ナル所以ヲ主張シ之ヲ議事録中ニ留メシムルノミナラス附屬書三ノ2.經費區分ニ關スル指示書3.ニ「三軍別經費ニ關スル公表様式ノ表ハ出來得ル限リニ於テ豫算及決算ニ別々ニ記載セラレタル豫算及支拂實額ノ數字ニ基キ作成セラル」ト爲シ又後述希望條項ヲ列記セル最終議定書ニ於テハ右ニ關シテ佛英瑞典等急進の希望ヲ述ヘントセルニ對シ我方ハ之ヲ緩和セシメタリ

三軍經費ノ區分

(ハ) 協會ノ國防費ニ付テ我方ハ蘇聯「オソアヴァヒム」(飛行及化學協會)ノ如キ軍事目的ヲ有スル有力ナル團體ノ軍事

協會

的費用ヲ網羅セシムル必要ヲ認メ屢々本分科會ノ注意ヲ喚起シテ一般指示書9.ニ左ノ如ク規定セシメタリ「國家又ハ地域若ハ地方公共團體ニ依リ國防ノ爲協會ニ與ヘラルル總テノ補助金ハ公表様式中ニ記入セラレラルヘカラス

協會カ自ラノ財源ニ依リ其ノ自身ノ爲使用スル經費ハ公表様式ニハ除外セラルヘシ但シ條約上ノ國防費表及分類ノ指示書ノ意味ニ於ケル武器彈藥戰闘器材ノ購入維持修理ニ宛テラルル經費ハ公表様式ニ記入セラルルヲ要ス右經費カ會計數字ノ基礎ニ依リ計算シ得サル場合ニハ公表様式中ニ記入セラルル額ノ見積リヲ爲スモノトス右額カ僅少ナルトキニハ公表様式ヨリ除外シ得ヘシ

對照表ノ附屬「ノート」ニ於テ其ノ活動カ國防ニ關係アル協會ノ性質及目的ヲ指示スヘシ

無償勞務及無償給付

(ニ) 無償勞務及無償給付ノ問題ハ單ニ公表制度ノ上ノミヨリハ左シテ重要ナル問題ニハ非サルモ蘇聯ノ如ク強制的勞働

本報告概説ニ之ヲ既述セル如ク我方ハ公表條文案及附屬書案ノ作成ニ對シ急進的ニ走ルヲ戒メ其ノ複雜化ニ反對シ且右公表制度カ直ニ經費制限制度ノ目的ニ轉化セラルルカ如キ制度トナルヲ阻止シ來リ伊英獨（脱退前）亦大體我方ト步調ヲ一ニシタル爲ニ佛瑞典等ノ理想論ハ著シク緩和セラレ其ノ主張ノ多クハ本議定書ニ單ニ會議ノ希望（*Wish*）トシテ列舉セラレ法律的拘束力ヲ生セサルモノトナレリ

第四章 各國豫算文書ノ審査

、國防費専門分科會ハ彙ニ豫算文書ヲ提出セル十九ヶ國(註二)ノ豫算會計制度竝ニ國防費ノ審査ヲ行ヒ其ノ摘録(Cont.
D./158 第二卷)ヲ作成シタルカ六月八日一般委員會ノ決議ニ依リ爾餘ノ會議參加國ニ對スル審査ヲ續行スルコトヲ委託
セラレ爾來完全文書提出國(註三)ニ付テハ從來ノ文面及口頭兩審査手續ヲ適用シ來リタルカ一月以來完全文書ノ提出ヲ
期待シ得サル左記各國ニ對シテハ速ニ仕事ヲ遂行スルノ必要ヨリ各委員ニ分擔シテ現在聯盟事務局ニ存在セル資料等ヲ
基礎トシテ各國毎ノ摘録案ヲ作成シ本分科會ニ於テ之カ審議ヲ行ヒ三月十七日之ヲ終了シタリ右摘録案ハ夫々關係國政
府ニ送付シテ其ノ意見ヲ求メ回答ヲ待チテ適當ナル修正ヲ加ヘ摘録續卷トシテ報告スル筈ナリ

「アフガニスタン」、「サウディット、アラビヤ」、「アルゼンチン」、「ボリヴィヤ」、「ブラジル」、**智利**、**支那**、「コロンビア」、「コスタリカ」、「キューバ」、「ドミニカン**共和國**」、「エチプト」、「エチオピア」、「ガテマラ」、「ハイチ」、「

(註一) 日、英、米、獨、佛、伊、蘇、白、和、波蘭、「チエツコ」、羅、「ユーゴスラヴィア」、瑞西、瑞典、諾威、印度、愛蘭、丁抹
(註二) 南阿、「アルバニア」、濱洲、埃、勃、加、西、芬、新西蘭、葡、「エストニア」、希臘、「ラトヴィア」、「リプスニア」、墨西哥(右ノ内文書口頭審査ノ完了セルハ埃、芬、濱洲、「ラトヴィア」トス)

第五章 國防費ノ公表制度ト軍備直接制限監督方法トノ關係

—
—
—
—

要アルモ其ノ爲特ニ之ヲ開催スルハ時機ニ非スト認メ「ヘンダーソン」議長ト打合せ「ヴァスコネロス」國防費委員會ヲ代表シテ本分科會ニ出席シ個人的ニ本分科會ニ右問題ノ研究ヲ提議スルコトシタリト云ヒ「ヘンダーソン」及「ブルカン」竝ニ「ウエストマン」トノ往復書翰 (Conf. D/C.D/C.T./97) ヲ披露シ本分科會ニ右問題ノ審議方ヲ委囑シ一月十七日ニ本分科會ノ再開方ヲ希望シタリ

(註一) 一、財政法及豫算案 (A.2)

二、俸給受人員三ヶ月報 (A.8)

三、主要維持費三ヶ月報 (A.9)

四、人員ノ公表様式ノ懸様

各國ノ態度

二、右ニ對シ伊委員ハ監督及人員委員會ニ於ケル伊委員ノ留保態度ニ付注意ヲ喚起シタル上右問題ハ本分科會ノ委託權限ヲ逸脱セルモノトシテ之カ審議參加ニ付留保ヲ爲シ英委員モ本問題ニ付審議ノ權限ヲ有シ居ラサルヲ以テ本國政府ノ意向ヲ知ル必要アリト爲シ我方ハ國防費公表制度ヲ複雑化シテ人員器材ノ監督ニ利用スルコトハ固ヨリ希望スル處ニ非サルヲ以テ英委員同様ノ態度ニ出テ結局本分科會ハ一月十七日再開ノ上右ニ付態度ヲ決スルコトナレリ

超ヘテ一月十七日本分科會再開ト共ニ本問題ヲ討議シ我方ハ本問題ヲ議スルハ本分科會トシテ權限ヲ逸脱スルノミナラス本分科會カ現狀ニ鑑ミ各國トシテ公表シ得ル最大限度ナリト思考スル條文及附屬書案ヲ既ニ一般委員會ニ提出シ其ノ意見如何ヲ知ラサル今日本問題ヲ取上クルハ適當ニ非サル所以ヲ主張シ又伊英委員ハ監督委員會研究ノ主旨未タ明白ナラサル今日文書審査ノ續行ヲ先行スヘキモノナリト云ヒ結局本分科會ハ「ブルカン」ヨリノ委囑ニ對シテハ監督委員會ノ研究不充分ニシテ問題未タ明白ナラス其ノ研究ノ結果ヲ俟チ本分科會トシテ右問題ヲ取上クルヤ否ヤヲ決定スルコトトナシ又「ウエストマン」ヨリノ委囑ニ對シテハ本分科會作成ノ條文案附屬書案ノ範圍内ニテ且之ヲ變更セサルコトヲ原則トシテ研究ノ上適當ナル時期ニ回答ヲ與フルコトニ決定シタリ

人員委員會報告關係

三、然ルニ佛伊委員ハ上述人員委員會報告ノ四點ニ關シ三月八日詳細ナル研究報告 (Conf. D/C.D/C.T./280) ヲ本分科會

事項ニ關スル佛伊委員會研究報告ノ提出

ニ提出シ國防費公表様式ノ區分ニ併行セシムル爲ニ人員ノ公表様式中修正ヲ要スヘキ點ヲ明ニシタリ三月十三日本問題ニ付各委員ノ意見ノ交換アリ我方ハ本問題ノ内容ヲ論スルハ尙早ナリトシテ内容ノ議論ニ觸ルルヲ避ケタルカ他委員ハ個人的資格ニ於テ其ノ内容ニ互リテ意見ヲ述ヘ結局將來回答ノ要アリト認メラル時ノ議論ノ資料トシテ可決シタリ

後記 前回報告ニハ Instruction ヲ指令ト譯セルモ今回報告ハ總テ之ヲ指示書ト改メタリ尙翻譯用語等未タ一定シ居

ラサルヲ以テ前回ト異ルモノアルモ寛恕ヲ乞フ

附屬第一

附屬書一 條約上ノ國防費表

國防費トハ本國並海外ニ於ケル陸海空軍ノ編制勤務並軍事施設ノ爲ニ要スル經費ヲ云フ即チ特ニ

中央行政廳

派遣者

大公使館附武官

高等統帥部及幕僚部

兵器及勤務

陸軍戰鬥員及非戰鬥員、步兵、騎兵、砲兵、工兵、輜重兵、戰車兵、瓦斯防護兵、海軍各兵種ノ戰鬥員及非戰鬥員、

空軍線縦者、非線縦者並補助勤務者、陸海空軍ノ勤務、編制、施設、對空防禦勤務者ヲ含ム

經理官、輸送隊

管理、會計ノ専門勤務者

徵兵官

藥劑並病院事務

馬匹補充並獸醫事務

軍隊僧侶

軍事警察事務

法務並監獄

學校並中央教育所

軍樂隊

科學事務、歷史、記錄並圖書事務

地理學事務、海岸、海上測圖、製圖、測地、地誌

本勤務ハ陸海軍ノ爲ノ勞務ニ限ル

氣象事務、天文學事務

國防費ハ左記ヲ包含ス

一、人件費

陸、海、空軍ノ編制、勤務及施設ニ屬スル若クハ屬セサル軍人及普通人並人員表（教育期間中又ハ同期間外ノ現役兵、派遣者又ハ歸休兵、被準備教育者、豫備役兵、國民兵役者）中ニ含マレタル警察及軍事類似團體所屬ノ人員ニ對スル給料、半俸給、手當、賞與、各種補償金、獎勵金、慰勞金、報酬、補助金、家族手當其他各種性質ノ手當、軍隊内ニ於ケル一般職業教育ノ爲ノ手當、轉任、派遣ノ補償金、社會保險（病氣、養老、廢疾、失業等）ノ名目ニ於ケル補助金維持費即チ

正規ニ軍隊ノ編制、勤務、施設ノ一部ヲナス人員並教育召集者ノ直接ノ需要ヲ充足スル經費特ニ糧食、被服、裝具、寢具、家具、洗濯、衛生、醫藥、宗教、事務費若クハ第二、第三、第四ニ示ス其他各種經費、軍事的、體育的、運動的訓練及教育並遊戲及各種娛樂ニ要スル經費（同一目的ノ爲ノ補助金ヲ含ム）

軍隊ノ編制、勤務、施設ノ爲ニ生シタル損害賠償ノ經費

軍事目的ヲ以テ上記需要ノ充足ノ爲ノ貯藏品、原料及既成品ノ製造、維持ニ要スル經費

同様ノ需要ヲ充足セシムル爲ノ組合及個人企業ニ對スル補助金並射擊團體、體育團體、傳書鳩團體及軍事目的ヲ有スル

飛行俱樂部ニ對スル補助金

二、行動ニ要スル經費

馬匹及動物、原料、小機械、既成品ノ購買竝ニ其ノ補修及維持ニ要スル經費

此等原料及既成品（馬糧、蹄鐵、馬鞍及車輛用、船舶用、航空機用燃料、混成物等、交換品、附屬品）ハ貯藏品トシ或ハ現ニ供用セラルルモノナリ

非軍事用機關ニヨル輸送交通（鐵道、郵便、電信、電話、「ラジオ」）ニ關スル經費

軍事的目的ヲ以テスル乗用、牽引用、駄鞍用馬、騾馬其ノ他動物ノ育成調教ノ爲ノ補助金、軍事的目的ヲ以テスル交通企業ノ爲ノ補助金、對空防禦及一般の見地ヨリスル交通組織ニ充用スル補助金及其ノ他ノ經費

其ノ他車輛、船舶、航空機用燃料及輸送交通ノ爲ニ要スル經費

三、不動産ニ對スル經費

要塞及防禦施設建造補修並維持ニ要スル經費

土地及建造物ノ購買、借用、瓦斯、電氣、水道ノ建造及裝置ニ要スル經費、此等裝置並建造物ノ改造、擴張、維持、補修ニ要スル經費、瓦斯、電氣、水道ノ經常費、地上固定ノ機械及大建築物（兵營、宿舍、學校、病院、監獄、既舍、軍隊ノ物質の需要ヲ滿ス國家建設物即チ倉庫、材料廠、格納庫、飛行場、練兵場、射擊場、材料置場等、棧橋其他陸、海、空軍及組織團體ノ爲ニ要スル總テノ施設ヲ含ム、軍港内及艦隊根據地ニ於ケル海事施設）等ヲ含ム總テノ種類ノ不動産ニ對スル暖房照明ニ要スル經費

特殊軍事の需要ノ爲ノ道路、橋梁、鐵道、棧橋、突堤、燈臺、燈船、浮標、壘道、信號標、運河、排水並造林工事ノ爲ニ要スル經費

軍事目的ノ爲ニ不動産及本項上記ニ掲クルモノノ購買、借入、改造、擴張、維持、補修ノ爲ニ要スル補助金、之ニ類似

ノ經費

四、戰用機材ニ要スル經費

本經費中ニハ以下ニ特記スル機材ノ總テノ種類ニ要スルモノヲ包含ス

平時ノ教育或ハ戰時編成ノ爲ノ裝備、武備及有ユル機材ノ供給、補給ニ宛テラルル完成セル又ハ部分的ノ船舶、製品、機材、彈藥ノ市場ニ於テ又ハ私營企業ヨリノ購買、國營企業ニ於ケル製造、維持、補修ノ爲ニ要スル經費竝ニ（私營、國營ヲ問ハス）戰用機材ノ製造以外ノ目的ニ使用セラレサル貯藏品竝ニ其ノ用具ノ建造維持ニ要スル經費

科學的研究及試驗ノ費用、引渡機材ノ監督及機材製作案ノ作成ノ經費、監督機關ノ經費、戰用機材ニ關スル工業動員ノ準備ニ關スル經費及其他類似ノ經費

戰用機材製造ノ爲メ設備及用具ヲ新設、維持、擴張シ若クハ戰用機材ノ貯藏品ヲ作り又ハ貯藏スル目的ヲ以テ平時ニ於テ常則トシテ戰用機材ヲ製造スル工業企業工場ニ與ヘラルル補助金

工業動員準備ノ見地ヨリ即チ動員實施ト共ニ戰用機材ヲ製造シ得ル如ク平時ヨリ準備スル平時ニ於テハ常則トシテ戰用機材ヲ製造セサル工業企業工場ニ與ヘラルル補助金

國防目的ノ爲ニ其ノ直接使用ヲ豫期セラレタル商船ニ對スル補助金、同様目的ヲ以テスル車輛所有者ニ對スル補助金
上記ノ機材ノ種類左ノ如シ

陸軍トシテ

兵器、彈藥、戰闘機材及其ノ他ノ戰用機材、工兵機材、携帶兵器、自動兵器、小銃、騎銃、拳銃、「ピストル」、自動小銃、自動拳銃、機械裝置「ピストル」、機關銃、擲射彈機、同運搬車輛

長短加農砲、榴彈砲、臼砲、步兵砲、高射砲、砲架（防盾等）、携帶兵器、自動兵器及火砲用各種彈藥、爆彈、手榴彈
其他總テノ彈丸、爆藥、地雷並運搬ノ爲ニ要スル電氣裝置、匣、車輛、彈藥箱等

白兵器即チ刀、劍、槍、銃劍、短劍
戰車、裝甲自動車、裝甲列車

總テノ其他ノ兵器、彈藥、擲彈器、副裝具、豫備品
鐵道材料、工兵機材、架橋材料、對壕機材、連絡機材、無線機材、通信機材、船舶、探照燈、音響機、視號機、對瓦斯機材、牽引車、特殊ノ又ハ然ラサル自動車、馬車、自轉車並ニ其ノ補助材料、交換品、自動車及馬車ノ所有者ニ對スル補助金及其他各種總テノ工兵機材

海軍トシテ

上記ニ掲クルモノノ外

各種戰艦、航空母艦、補給船、燃料船、武裝材料船其ノ他總テノ運送船、工作船、救護船、母艦、特務船、牽引船、團平船、舢舨、浮船渠、水雷掃海具其他此等船艦ニ裝セラルル總テノ材料及海兵ノ使用ニ供セラルル小艇艇

空軍トシテ

上記ニ掲クルモノノ外

陸上飛行機、水上飛行機、水陸兼用機、船舶、航空船、自由及繫留氣球、無線機、同動力器材並電氣裝置、寫真器材、酸素格納器、探照器、地上繫留機、落下傘、水素、「ヘリウム」、對空防禦器（監視用、警報用並連絡用通信網、警報器、聽音器、阻塞網、噴霧器、偽裝等）

附屬第二

附屬書二 豫算決算及條約所定ノ他ノ文書ノ常設委員會送付ニ關スル

指示書

一、締約國ハ條約第B、C、E、F條ニ其ノ送付方ヲ規定セル總テノ文書（豫算決算公表様式對照表概狀書）ヲ三部送付スヘシ

國防費ニ關スル豫算ノ各目ノ字句翻譯ハ對照表中ニ與ヘラルヘキモノナルヲ以テ豫算或ハ決算中ニ右字句ノ翻譯ヲ必要トセス但シ各表ノ表題及該表ノ行ノ見出シノ翻譯ヲ爲スヘシ右翻譯ハ國防省豫算及決算ノ表題及行ニ付キ爲スト共ニ國防費ヲ記載セル他ノ豫算文書ノ表題及欄ニ付テモ爲サルモノトス

常設委員會ハ其ノ經驗ニ基キ本項ニ其ノ必要ト認ムル變更ヲ加フルコトヲ得ヘシ

二、一般豫算案一般豫算一般決算ノミナラス各省別豫算案豫算及決算ヲ別々ニ公表スル締約國ハ右兩種ノ文書ヲ送付スヘシ

三、豫算案表決又ハ確定豫算及決算ノアル公刊物（官報及其ノ附屬書議會文書特別冊子）中常設委員會ニ對シ豫算案、豫算或ハ決算ニ關スル公刊物ノ各々ノ初版及初版カ續刊又ハ續々刊ヨリ詳細且完全ナラサル場合ニハ其ノ内ノ最モ完全ナルモノヲ送付スヘシ

四、高級檢査機關ノ檢査公表ノ後ニ行ハルル場合ニモ公表決算ヲ送付ス

右ノ場合ニハ締約國ハ右公表決算ノ檢査カ右機關ニ依リ行ハレタルトキ之ヲ常設委員會ニ通知スヘシ右檢査ノ結果先ニ公表セル數字ヲ變更スルニ至リシトキハ右變更ヲ常設委員會ニ通知スヘシ

五、商業的ニ購買シ得ル文書ノミナラス議員ニ機密等ノ注意書無クシテ配布セラレ又ハ議會ノ圖書館ニ藏メラレ公衆カ假令右閱覽ニ特別ノ許可ヲ要スルトモ之ヲ閱覽シ得ル文書ハ公表セラレタルモノト見做ス

六、大部ノ或豫算及決算ノ公刊ハ印刷所及製本所カ其ノ工作ヲ終ヘルニ伴ヒ爲サルヲ以テ初部力出版セララルヤ否ヤ常設委員會ニ三部送付スヘキモノトス右初部力現實ニ流布セラレタル時日ヲ之ニ記載スヘシ

七、聯邦ヲ成ス諸國並ニ地域及地方官憲ノ豫算及決算ニ關スル第G條ノ規定ハ常設委員會ニ於テ豫算及決算ヲ受ケンコト

ヲ希望スル聯邦ヲ成ス國竝ニ地域及地方團體ヲ明白ニ指定シ理由ヲ附シタル特別ノ要求ニ基キ右豫算及決算ヲ常設委員會ニ送付スヘキ意味ニ解セラルヘキモノトス

總テノ地域又ハ地方豫算又ハ右豫算ノ或種類ノ概要ヲ傳フル統計ノ公刊書アル場合ニハ各國ハ常設委員會ニ右種公刊書ノ存在ヲ知ラシムヘシ

八、殖民地保護領海外領土或ハ締約國ノ主權下ノ領土若クハ委任統治地域ノ豫算及決算ノ送付ニ關スル條約ノ規定ハ殖民地保護領或ハ領土ノ一般豫算ニ適用アルノミニシテ地方豫算ハ之ヲ除ク

九、聯邦ヲ成ス國竝ニ地域又ハ地方團體ノ公證セラレタル狀況書ノ提出ニ關スル第F條ノ規定ハ締約國カ其ノ公表中ニ記載スヘキ國防費ノ一部分ヲ主權下ニアル領土又ハ保護領ニ於テ負擔スルモノニ同様適用アルモノトス

且又上記諸國領土或ハ團體ノ一ノ豫算及決算公表セラレス且第G條ノ規定ニ依リ一般委員會其ノ文書ノ送達ヲ要求スルニ於テハ右諸國領土或ハ團體ニ依リ負擔セララルル國防費ヲ其ノ公表様式中ニ記載スヘキ締約國ハ要求セラレタル豫算及決算ノ代リニ右諸國領土或ハ團體ノ負擔タル國防費ノ見積リ數字ノ狀況書ヲ作成シ得ヘシ右狀況書ハ當該政府官憲ニ依リ公證セラレ問題ノ數字カ當該締約國ニ依リ右諸國領土或ハ團體ノ國防費ノ總額ヲ出來得ル限り精確ニ表ハシタリト公認セララルモノナルコトヲ認證セラルヘキモノトス

一〇、本條約第D條ノ第三及第四項所定ノ文書ノ公證ハ當該政府官憲ノ署名ヲ伴ヘル公ノ印紙ノ貼付ニ依リ爲サルヘシ

一一、絶對的不可能ノ場合トシテ豫算案カ條約案第D條所定ノ期間内ニ豫算公表様式ヲ發送シ得ル爲ニ充分ナル期間内ニ作成セラレサルトキハ關係締約國ハ常設委員會ニ公表様式提出遅延ノ理由ヲ説明セル報告ヲ發送スヘシ

一二、條約發効ノ期日カ當該財政年度ノ初メヨリ起算シテ九ヶ月ノ期間經過後ナルニ於テハ第I條ニ送付方ヲ規定セラレタル該年度ノ豫算ヲ變更セル一切ノ法令ノ表ヲ最初ニ送付スルニ及ハス

附屬第三

附屬書三 國防費問題重要文書表(續)

一、國防費公表制度適用案 Conf. D./C.G./60

[Conf. D./C.D./C.T./239]

二、幹部會附屬人員委員會報告國防費關係事項ニ關スル佛伊委員報告 (Conf. D./C.D./C.T./280)